

かわさき 消防かわら版

平成28年
7月号

消火器の取り扱い

万が一に備え、ご自宅に消火器を設置し使い方を覚えましょう。

- 1 運搬するときはレバー下部を保持する。
- 2 安全ピンを上へ抜く。
- 3 ホースをはずして火元に向ける。
- 4 レバーを強く握って噴射する。

(注意点)

- ・火災を発見したら大声で周囲の人に知らせる。
- ・初期消火の限界は炎が天井に着火するまで。
- ・早めに119番通報をする。

*住宅等での火災発生時に、初期消火を実施すると大幅に被害が軽減されます。



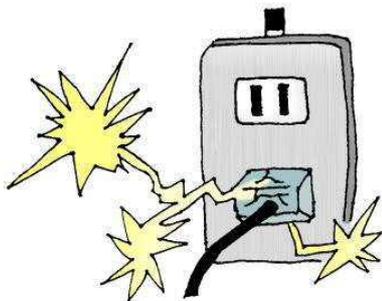
各家庭に消火器を
設置しましょう。



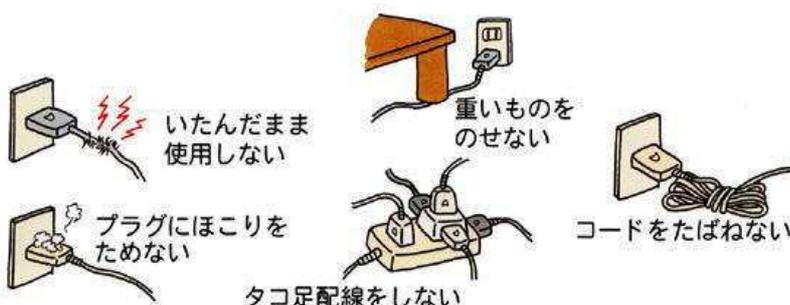
※義務ではありません

トラッキング現象

コンセントやテーブルタップに長期間電源プラグを差し込んだままにすると、コンセントとプラグの隙間に徐々にほこりが溜まり、このほこりが湿気を帯びると、プラグの両極間で火花放電が発生します。これをトラッキング現象といいます。このトラッキング現象が繰り返されることにより、プラグの絶縁状態が悪くなり、ついには発火して火災になることがあります。



*物のかけになっているコンセントに差し込まれた電源プラグは、定期的に点検しましょう。



記事についての
お問い合わせはこちらまで

川崎消防署 川崎区南町20番地7 044-223-0119